

る科学者の思考の推移と、資料収集の方法や登録精度の変遷を表わしている解説部分と、世界中の登録室(所)から採用されたデータを収めてあります。

データは膨大なもので、歴史的な意味あいもあると思われませんが、編集方針等が記録されている各巻の説明部分は、がん登録に関してきた先達たちの考え方の変遷を知る上でも興味深いものがあります。

収録内容：Cancer Incidence in Five Continents Vol. 1 ~ Vol. 4  
1枚 4,500円

なお、このCDは販売目的に作られたものではなく、  
学術資料保存のため個人的に作られたものですので、  
複製は出来ないことをご理解の上お申し込み願います。

記

保健記録研究所

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-4-3

ベルエア会館内

電話：022-716-5161 FAX：022-716-5120

## がん登録のためさらに一層のご活躍を

### - 平成15年度実務担当功労者表彰の報告 -

本協議会では、平成13年度から、地域がん登録の実務担当功労者表彰制度を創設し、各都道府県市の地域がん登録事業で、多年にわたり、事業の推進に篤志的に努力された実務担当の方を、協議会が表彰し、感謝状をお贈りすることになりました。

平成15年9月に福井で開催された第12回総会で、第3回表彰式が行われました。次の各府県市の6人の方々に対し、大島理事長から、感謝状と記念品が贈呈されました。受賞者の皆様の今後のご活躍を期待します。

(敬称略)

茨城	川瀬 至人	栃木	莊司 明彦
富山	村中 修	大阪	手嶋 薫
広島市	大野 佳代	長崎	葉山さゆり

## 編集後記

昨年発足した祖父江班について、その3本柱である地域がん登録手順の整備と標準化、院内がん登録の標準化、がん登録データの解析についてご説明いただきました。一昨年から新たに立ち上がった広島県地域がん登録事業に参加されている医療機関の先生にも、院内がん登録に興味をお持ちの方はいらっしやいます。標準化には県を挙げて期待しております。神経芽細胞腫マスキング事業の中止は、がん登録のがん予防評価の一例として特筆されるべきものでしょう。とすれば、存在理由を問われてきた地域がん登録の関係者も溜飲を下げられたことと思います。松田先生による「CI5、第8巻」の書評は13号WEB版でご覧いただいていたが、今号でもご紹介させていただきました。

編集担当は、今号から千葉県がんセンターの三上先生に参加していただきました。次号からは三上先生と長崎放影研の早田先生に担当していただく予定です。(小山)

2000年春に地域がん登録の仕事に移ってから4年が過ぎようとしています。この間個人情報保護法の制定、健康増進法の制定、疫学研究ガイドラインの公表と地域がん登録を取り巻く環境は個人情報の扱いと公衆衛生活動の間で大きく揺れ動いてまいりました。そのような中で厚生労働省に第2の地域がん登録関連研究班が立ち上がり、標準化の仕事に着手されたことは、地域がん登録の新しい展開のマイルストーンと思います。このような時期にニューズレターの編集に関わることでできた幸運を思うとともに、本ニューズレターが日本のがん登録の歴史の貴重な記録となりますよう関係の方々のご協力をお願い申し上げます。(三上)

## 2004年 関連学会一覧

7月15-16日	日本がん疫学研究会(第27回)	東京都
9月2-3日	地域がん登録全国協議会総会研究会(第13回)	仙台市 宮城県庁
9月14-16日	国際がん登録学会(IACR)(第26回)	Beijing, CHINA
9月29-10月1日	日本癌学会(第63回)	福岡市 福岡国際会議場ほか
10月27-29日	日本公衆衛生学会(第63回)	松江市 島根県民会館

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 大島 明  
事務局 〒537-8511 大阪市東成区中道1-3-3 大阪府立成人病センター内  
TEL: 06-6972-1181(2314), 06-6977-2030(直) FAX: 06-6977-2030(直), 06-6978-2821  
URL: <http://home.att.ne.jp/grape/jacr/>